

中札内より元気いっぱい!

第103号

令和6年9月24日(火)

北海道中札内高等養護学校 校長室より

現場実習お世話になりました

2年生の現場実習が終了しました。

どの生徒も自分のことを見つめなおす機会になりました。教職員にとっても、生徒の実態把握のし直すことになった期間でした。

実習の報告を聞きながら、校長の私自身も特別支援学校の現場実習について、さらに働くことを指導するとは?ということについて考えることが多かったと思っています。

先日、ある事業所の方が「いろいろな子がいて楽しい。それでいい。どの子もかわり方ひとつで変わる」と話されていました。力強いお言葉でした。その方は、一人一人の気持ちを理解し、焦らず、励まし、その気にさせながら、頑張りを即座に評価する方でした。そんな環境の中、あまり作業に乗り気ではなかった生徒が、自ら作業に取り組む姿を見せてくれました。

その子にどんな才能があるか、どんな花を咲かせる人なのか?は、働こうとする気持ちを育てることが一番なのかもしれません。私たちの授業準備、生徒への働きかけ、言葉かけが一つ一つ学習環境だということを再度学びました。現場実習でお世話になった地域の皆様、本当にありがとうございました。



中札内村役場での実習



トウモロコシの収穫

インクルーシブな学校運営モデル事業

中札内高養と更別農業高校で取り組んでいる「インクルーシブな学校運営モデル事業」の今年度第2回連携協議会が10月4日に開催されるにあたって、事前の打ち合わせ会議が行われました。

先日行った生徒のアンケート結果や両校で行っている研修をお互いに受けている状況、初任段階研修、今年度2年生で予定されている交流及び共同学習、今後取り組まれる各校の教育資源の活用について、話し合われる予定です。当日は、参集とオンラインでの開催となります。



Be Yourself に行ってきました

「9月21日に来てください」と生徒からお誘いを受けたので、麦音で開催されたイベントに行ってきました。スペシャルゲストとして、アフリカの打楽器サバールやジェンベなどを演奏するパーカッション奏者、新倉壮朗さんが地元の音楽家の方と演奏をしたり、音楽セラピー樹音のメンバーの様々な音楽・ダンスの発表をしたり、多くの団体の出店もありました。多くの卒業生や在校生がこのイベントにかかわっていることも知りました。

伸び伸びと思いのままに自己表現をする子どもたちの姿を見て、子どもたちの良さを最大限引き出そうとする支援者の方々の温かさと専門性の高さを感じる一日でした。

